

# 風立ちぬ

風の街の中学校の窓から

庄内町立立川中学校  
学校だより  
2015. 8. 28

文責：校長 石崎幸宏

## 「SHINKA」の発揮できる2学期に (今年度生徒会スローガン)

8月24日の2学期の始業式で、各学年代表生徒が話した「2学期の抱負」を2回にわたって掲載します。

### 積極的な2学年に 勇気と度胸

#### 2年代表

初めて立中で「先輩」となり、張り切って迎えた1学期。トラブルや問題もありましたが、学年みんなで取り組みを重ね、学習や提出物、給食準備や片付け、学年のまとまりなど少しずつ向上してきました。

夏休み中は、「課題全員分完全提出」を目標として部ごとに声をかけ合い、一人一人が頑張ってきました。

2学期からは、忘れ物がなくなるようにし、1学期よりも積極的な2学年に成長していきたいと思います。

1学期最後の学年総会では、全員が話し合いに参加でき、たくさんの良い意見が出ました。その中で、「2学期は、自分の甘さや弱さを打ち破る勇気と度胸をつけていこう」ということを確認しました。2学年一人一人の勇気と度胸で、2大行事を成功させたいと思います。

また、2学期は来年度の立中を引っ張っていくリーダーを決める生徒会選挙も行われます。一人一人が今の先輩方の姿を見習い追いかけて、たくさんの人が立候補して、堂々と自分の意見を伝えていきたいです。

私自身は、部活動と勉強の両立を頑張りたいです。まず1ヶ月後には新人戦があります。3年生の思いを心に刻んで、1年生と助け合いながら1つでも多く勝てるように1回1回の練習に集中していきたいです。

## 山大農学部留学生との交流

8月18日に本校を会場に山大農学部の留学生3名（中国から1名、インドネシアから2名）を迎え、国際交流活動が行われました。外国の方々との交流活動を通して、もっと国際社会への関心を高め、視野を広げてほしいと今年度初めて企画しました。

3年生16名が参加し、自己紹介、留学生との談話やゲーム、学校案内、留学生からの出身国の紹介など英語を通して交流を深めました。

今回の交流は新たな発見をしたりまたやりたいという思いがあったりと、今後役に立ち、つながる経験となったのではないかと思います。



- 質問する中で、日本の文化が外国にも伝わっていて驚いたし、うれしかった。私も外国の文化をもっと知っておかなければと思った。
- 英語の説明で、卒業式について知ってもらえてうれしかった。最初は難しかったけど、慣れてくるにつれ、とても楽しむことができた。またこのような機会があったら参加したい。
- 自分の考えが変わった。外国に行くには英語をほぼ完璧にマスターしなければならぬと思っていたが、ここ数年間の英語力とジェスチャーで楽しく簡単に外国の方とふれあうことができたのです。
- 普段の英語では味わえない難しさを知ることができた。コミュニケーションは言葉だけでなくジェスチャーでも通じることが分かった。
- 外国の方と話す機会はなかなかないので、とても良い経験になった。将来外国の方から道案内等を頼まれた時には、うまく伝えることができるようもっと英語を学習していきたい。
- たくさん会話することができ、今回の体験ができたことはとてもうれしかった。今までこのような経験がなかったので、参加してよかった。
- 国際交流は私には縁のないものだと思っていたが、参加してとても楽しく刺激的だとわかった。留学生の国でも英語を話すことを初めて知った。
- 学校案内を英語で話す時、どう話したら良いか、どう伝えるかを深く考えることができた。一生懸命話せば相手に伝わることもわかった。

### 牛乳パック回収にご協力いただき

本当にありがとうございます。



集まった  
牛乳パック

←5月中旬

8月現在→

